

**第 52 回技能五輪全国大会**  
**「情報ネットワーク施工」職種予選会競技課題(メタル部門)**

**1. 競技時間**

- (1) メタル課題…40 分（準備作業 20 分、接続作業 20 分）
- (2) 光課題……80 分

**2. 使用機器・部材**

持参しなければならない物：

情報配線施工関連工具一式、光融着機、メタル課題に必要なテーブル・椅子  
メタル課題に必要な部材

支給する物：

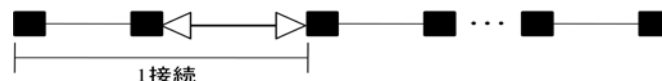
光課題に必要な部材

**3. 課題内容**

指示に従って、以下の作業を行いなさい。なお、2 級技能士は光課題を免除する。

(1) メタル課題

- 1. 本競技は、U/UTP ケーブルをモジュラジャックとモジュラプラグの接続により、より長く接続することを競う。接続数が多いものを上位とする。
- 2. 両端プラグ成端のパッチコード、両端ジャック成端のツイストペアケーブルを作成し、各々を接続する。



■ ：モジュラジャック、△：モジュラプラグ

図 1 メタル課題イメージ

- 3. 開始端と終端はモジュラジャックであること。
- 4. パッチコード、ツイストペアケーブルの長さは約 0.3m とする。
- 5. 結線はいずれも T568A とする。
- 6. モジュラジャック、モジュラプラグ及びケーブルは各自持参すること。モジュラジャックは NR3061(パナソニック)、モジュラプラグは Cat.5e (型番任意) とする。ケーブルは U/UTP(Cat.5e) とし、単線型、撚り線型とも通信興業製ケーブルを持参すること。これ以外の持込は認めない。
- 7. 競技開始前に、モジュラジャックの IDC キャップを外しておいても良い。
- 8. 同一作業（外被除去など）を複数のケーブルにまとめて行うことを禁じる。
- 9. ワイヤマップ試験を行いエラーが発生した場所で断線していると判断する。また、ジャックの成端不良や不適があった場合には、接続数を 1 減ずる。

10. 接続タイム開始時は、作業椅子に座って、いつでも作業開始ができる状態にしておくこと。
11. 作業台、作業椅子、固定治具、測定器の使用は自由とする。
12. 開始端が判別できるようにラベリングすること（その他は必要ない）。
13. 競技中にトラブル等が発生した場合は、挙手のうえ、競技委員に申し出ること。
14. かしめ工具は1個のみ使用を許可する。ジャケツストリッパは複数使用しても良い。
15. 作成したモジュラジャックの出来型が著しく悪い場合は、そのリンクを減じる。
16. 上記以外のルールについては、第51回技能五輪全国大会の課題5に準ずる。

## (2)光課題

図2を参考にして、支給された作業板（表面）上において、以下の光ケーブルの配線施工に関する作業を行いなさい。ただし、作業手順は実際の施工手順を考慮して作業を行うこと。

- (a)光インドアケーブル A 及び B を心線収納トレイ A へ導入する。
- (b)光インドアケーブル A と光インドアケーブル B を心線収納トレイ A 内で融着接続（2心）し、余長を収納する。このとき、光接続箱に収納する光インドアケーブル A 及び B の合計口出し長は 1m 以上とすること。また、光ファイバ心線をねじれなく収納するとともに、心線の曲げ半径は 30mm 以上とすること。
- (c)光インドアケーブル A と B の両端を 1m 以上口出しして、現場組立型 SC コネクタを各 2 個（計 4 個）取り付けること。

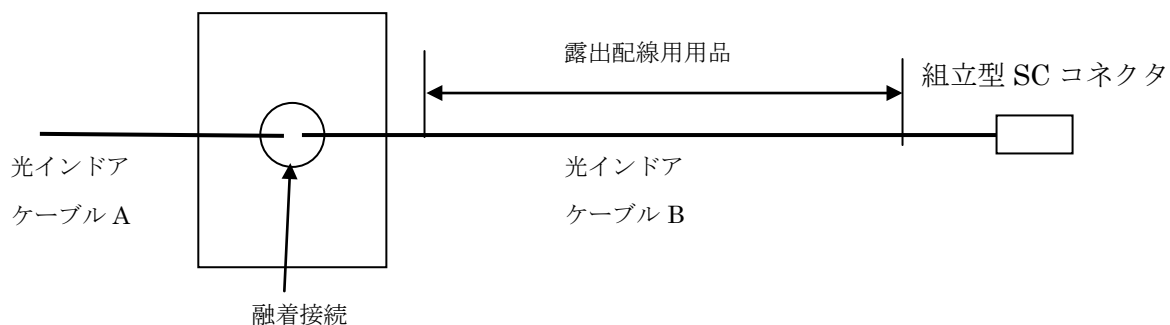


図2 光課題イメージ